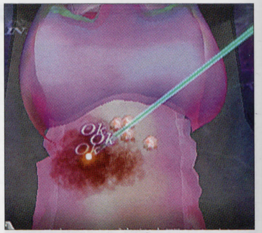
レーザー　使用症状:小さな腫瘍、ギルスなど

Aボタン　またはBボタンを押している間、Wiiリモコンのカーソルが当たっている箇所に、レーザーが照射されます。カーノレ位置を移動させることで　照射したまま照射箇所を移動させることもできます。

POINT

異常の無い箇所に照射していると、内臓を傷つけてしまうことがあります。様子を見ながら、少しずつ照射するのがコツです。傷を付けてしまった場合は、ドレーンで出血した血液を吸引し、ヒールゼリーで傷を塞いで下さい。



スキャナ　使用症状:患部の拡大/縮小、病巣の影の探知など

スキャナには、病巣の探知ができる「エコー　の機能と、患部の拡大　縮小ができる「ルーペ」の機能があります。普段はエコー機能のみを使用しますが、患部の拡大が必要な手術では、ルーペ機能も使うことができます。ルーペ機能があるか無いかで　スキャナ選択時にWiiリモコンのカーソルに表示されるサークルが右図のように変化します。



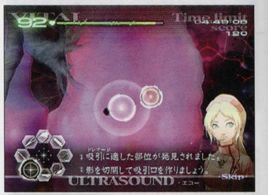
◀エコーサークル



ルーペサークル▶

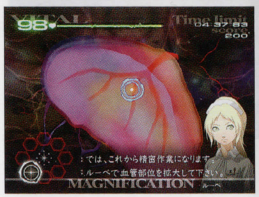
●エコー機能のみのスキャナ

Aボタン　またはBボタンを押すと、Wiiリモコンのカ　ノルが当たっている箇所を中心に、エコーの波紋が広がります。この波紋の範囲内に病巣やギルスが潜んでいた場合　その影を映し出し、居場所を突き止めることができます。



●ルーペ機能を持つスキャナ

AボタンがルーペI機能を使うボタン　Bボタンがエコー機能を使うボタンとなります。Aボタンを押してルーペ機能を使用すると、Wiiリモコンのカーソルが当たっている箇所を中心に、患部を拡大させることができます。再びAボタンを押せば、元のアングルに戻ります。通常では視認の難しい小さな患部も、容易に処置できるでしょう。



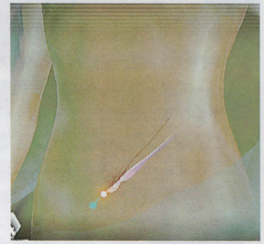
メ　ス　使用症状:皮膚の切開、患部の切除など

Aボタン　またはBボタンを押したまま、Wiiノモコンのカーノルをスライドさせることで　その箇所の切除を行うことができます　皮膚の切開や　腫瘍の切除、内臓内の見えない病巣を露出させる時などに使用します。

切開や腫瘍の切除を行う際には、マーカーが表示されるので　マーカーに沿ってAボタン　またはBボタンを押しながら、Wiiリモコンのカーノルをスライドさせましょう。

POINT

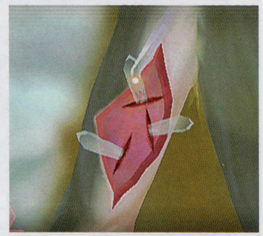
切開の途中でボタンを離さず、一筆で切るのがポイントです。マーカーから大きく外れたり、関係の無い場所をメスで切ってしまうと、そこに出血線ができ、患者のバイタルを大きく下げてしまうことがあるので注意しましょう。



ピンセット　使用症状:異物の除去など

本物のピンセットを使う要領で　AボタンとBボタンを同時に押すと、Wiiリモコンのカーノルが当たっている箇所にピンセットが出現し、そこにある異物をつまみます。そのままカーノルをスライドさせれば、つまんだ異物を移動させることができます。

異物をつまむと、画面右側から「回収トレイ」が出現するので　トレイの上まで異物をスライドさせて　AボタンとBボタンを離してください。ピンセットが異物を放し、その異物を回収トレイが回収してくれます。



POINT

異物が患部に刺さっている場合は、その異物をピンセットでつまみ、刺さっている角度に合わせて、ゆっくりとピンセットをスライドさせて、患部からそれを引き抜きましょう。

